

【平成 27 年 6 月 23 日（火）】

しばらく前からハシビロコウのオスとメスの間にある扉をあけて一緒になれるようにしているが、何度か同居するようになってきた。本日は 5 m ほど間隔をあけてお見合い状態。メスのしずかはお辞儀のような挨拶をするが、オスのじつとは相手を凝視したまま不動。隣にいるヒロハシサギペアはただいま抱卵中。こちらもしつとして動かない。近くのヘビクイワシは巣作りのような行動をして、交尾をしていて、産卵もしているが、相変わらず落ち着かない。ちゃんとやっているのだろうか。午後から晴れて暑くなってきた。このところあちこちから呼ばれて話をする機会が多いが、昨日は上野原、明日は甲府市に行ってきます。



【平成 27 年 6 月 17 日（水）】

朝から会議の連続、なんだかんだと 6 つの会議。水曜日に幹部の会議をし始めたら、水曜日に会議・打ち合わせが集中してしまった。

【平成 27 年 6 月 16 日（火）】

市議会に条例の改正案を提案したので、先週は市役所につめていました。金曜日に委員会があって一段落したところ。

鳥の耳って見たことありますか？ ミミズクのはなんとなくわかるけど、ほかの鳥の耳を見ることは少ないと思う。耳の穴は聴覚神経がすぐ脳につながっているのだから、しっかり保護されないと危ない。そのせいもあるのだろう、巧妙に隠されている。ところがエミューの耳はぽっかりと穴が外に向かって開いていて、よく見るとぎょっとすることがある。ダチヨウも同じような耳をもっている。今度じっくり見てください。

ハシビロコウの♂が嘴をカタカタさせてクラッタリング。するとメスもこれに呼応してカタカタ、その次には、♂と♀がネット越しに近寄ってしばらくにらめっこしていた。

ミーアキャットがあられもない姿をして寝そべっていた。しばらくこのスタイル、すぐそばに居るのはオスのカン太、この写真では頭がどこかわからないのはメスのアイデア、こんな姿はみたことないぞ。仲良くしているように見えるのだが、子供を期待しているのか

どうかはわからない。



【平成 27 年 6 月 8 日（月）】

午後から明日にかけて議会の各会派に定例議会で提案する条例改正案の説明をする。動物園関係の条例改正は初めてなのでちょっと緊張して資料を確認する。休園日なので動物の手術などであちこちバタバタしている。

【平成 27 年 6 月 7 日（日）】

ジェフロイクモザルという南米産のサルがいる。クモザルは、蜘蛛猿で、英名でスパイダーモンキー、虫のクモのように手足が長い。ちなみにジェフロイとは、発見した人の名前である。オマキザルの仲間で、尻尾を五本目の手のように枝に巻き付けて枝渡りをする。観察していると尻尾を使わないで体を支える時間はほんのわずかしかない。さて今日はなんと尻尾を自分の腕に巻き付けていた。

園内では、ボランティアグループがクイズラリーを開始した。これから月に一度、定期的
に実施するとのこと。50人限定で行ったが、すぐに配布完了してしまった。サルに関するクイズだったが、名前の区切りの部分がわかりにくかったようだ。今日の例では、ワオキツネザル、漢字に直すと輪尾狐猿でわかりやすいが、カタカナを並べるとどこでつながっているのか分かりにくくなる。これは動物全般にいえることなので、少し考えたほうがいいかな。もちろん動物学的にはカタカナ表記すべきなので、カタカナ表記しつつ少し工夫が必要か。

例えば、セキセイインコ、デマレルーセットオオコウモリなんてのはわからないなあ。



【平成 27 年 6 月 4 日（木）】

中央広場にある噴水で子どもたちが遊ぶ季節になった。大勢の子どもたちがシャワーを浴びて大喜び。子ども動物園にいくとこちらはペンギンにシャワー、夏とは言えないがその雰囲気が出てきた。もっとも私のほうは少しボーとしてきたが。

エミューの放飼場では、なんと泥水に浸かって座っている。立ち上がるのを見ると下半身泥だらけ、これは知らなかった。前からやってたののだろうか。飼育係が泥水溜まりを意識的に作ったのであれば、立派なエンリッチメントではないか。あとで聞いてみよう。



【平成 27 年 6 月 3 日（水）】

28日から29日に開かれた JAZA の会議のことを書くのを忘れてました。全体に無事に終了、厳しい質問ありませんでした。ただしこれで決着といった感じではありませんね。これから、イルカの飼育・繁殖・入手方法などを検討する会議を開催していくことになります。いずれも極めて難しい課題なので、我慢ができないところも出てくるかもしれない。今日は雨、お客さんはほとんどいない。食堂に行ってランチを頼むと、今日一番目の利用者であった。これは1年以上になるが初めて。帰りにマレーバクの前を通ると、動き回っている。いつもはこの時間お昼寝タイム、雨だとこういうこともあるのか。記憶をたどってみても12時過ぎに動いているのは覚えがない。もっとも記憶力が低下しているからかもしれない。

例の動かないヒロハシサギのところでは、5羽いるのだがないかいつもと並びが変だと思ったら、巣が作られていて1羽がいるように見える。その後ろにはぴったりともう1羽がよりそって、あたかも秘書のように「気を付け」をしている。卵をうんでいないようだが、しばらく不在しているとこんなことも起こっていた。

【平成 27 年 6 月 2 日（火）】

WAZA 騒ぎやらなんやらですっかりご無沙汰してしまいました。ごめんなさい、日記を再開します。このところ動物園は世の中を騒がせているので、少し解説しておきますか。世界動物園水族館協会 WAZA は、世界の動物園・水族館の集まりで、各園館が会員になって成立しています。国の機関、例えば JAZA などが中心的な会員ではないのです。しかも水族館が

圧倒的に少ない。だから、水族館の味方は少ないのです。日本はちょっと特殊で、水族館王国といえるほど、水族館が多く、レベルも高い。WAZA には日本から7園しか参加していないのと、アジアの人たちも少ないので、日本の意見を通そうとすると日常的なロビイングが必要になるのでけれど、ほとんどそれがなされていないのが、今回の最大の原因ですか、ね。イルカの捕獲以前のレベルで意見の相違があります。まだたくさんあるけど今日はこの辺で。

5月末から暑くなってきて、動物も少しバテ気味かしら。ゴリラのケンタは今日も昼寝。同居しているメスのローラはケンタが寝ているので、安心して歩き回っていた。もともと人間が好きだから、やあやあ、といった感じでこちらを見ている。

ゾウのメス・アイは珍しくすぐそばまで来て、土を鼻でほじって体に掛けている。暑いときにするしぐさである。ゾウは暑いときは水やら土やら、少しでも冷たそうなものを体に掛けて体を冷やすことをする。暑いときは近くの物陰の下の土をほじることが多いのかもしれない。

